

気候変化と地殻変動と地形： どうして、海成段丘は段々なのか？

①図1を見て、三陸海岸（A）と下北半島東岸（B）とで、海底の地形がどのように異なるか（等深線の形がどのように異なるか）を読み取って、下に記述する。

②どうして、そのように異なるかを考えて、下に記述する。

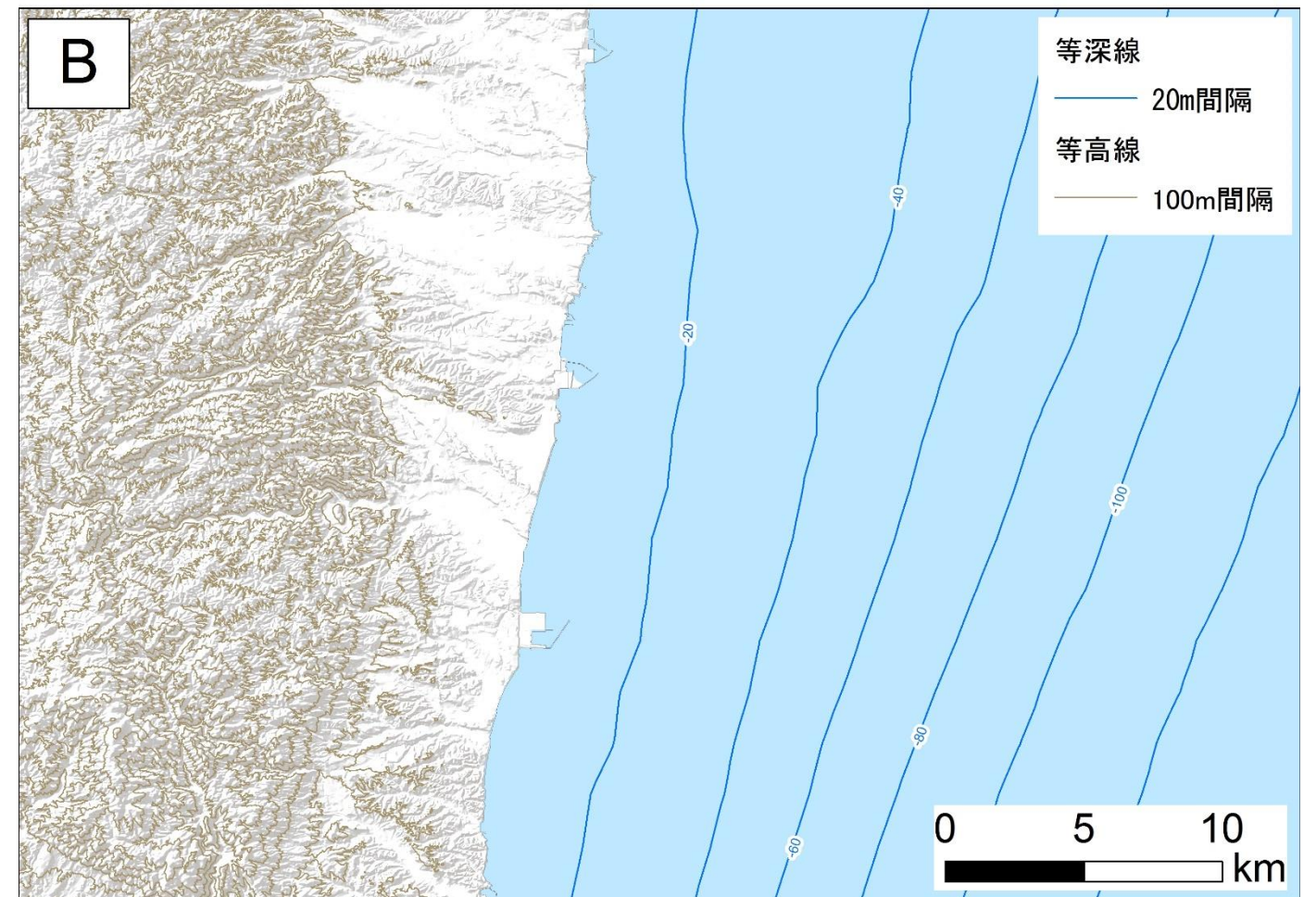
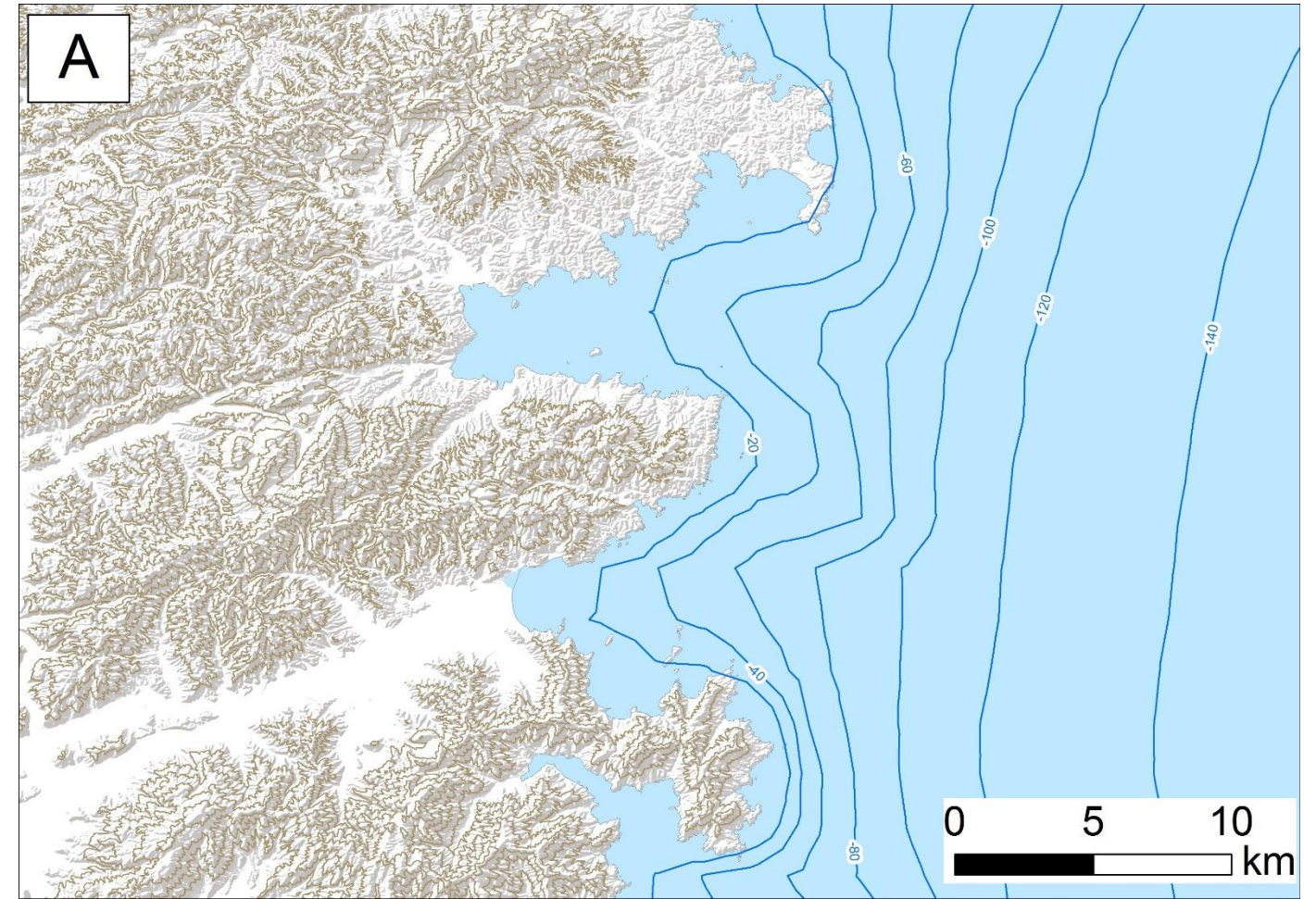


図1 三陸海岸（A）と福島県東岸（B）の等高線と等深線

③図3は、海成段丘の形成に関わる地形変化を模式的に表したものであり、図3中のCは、海成段丘の形成過程を表したものである。図3中のAおよびBを説明した下の記述を参考にして、図3中のCから海成段丘の形成過程を説明する文章を、下に記述する。

地盤の隆起も海面変化も起こっていないAの場合、波の侵食、堆積作用によって、汀線付近に平野が形成され、その平野は内陸に広がっていく。
 地盤は隆起しているが海面変化がないBの場合、Aと同様に、汀線付近に平野が形成される。地盤の隆起は、千年間で数 m 程度のものであるため、波が届かない高さまで、短時間に隆起するわけではない。このため、たとえ地盤が隆起していても、波の侵食によって、平坦な地形が維持される。ただし、汀線の背後にある海食崖は、隆起した分だけ高くなっていく。

地盤の隆起も海面変化もある場合Cの場合、

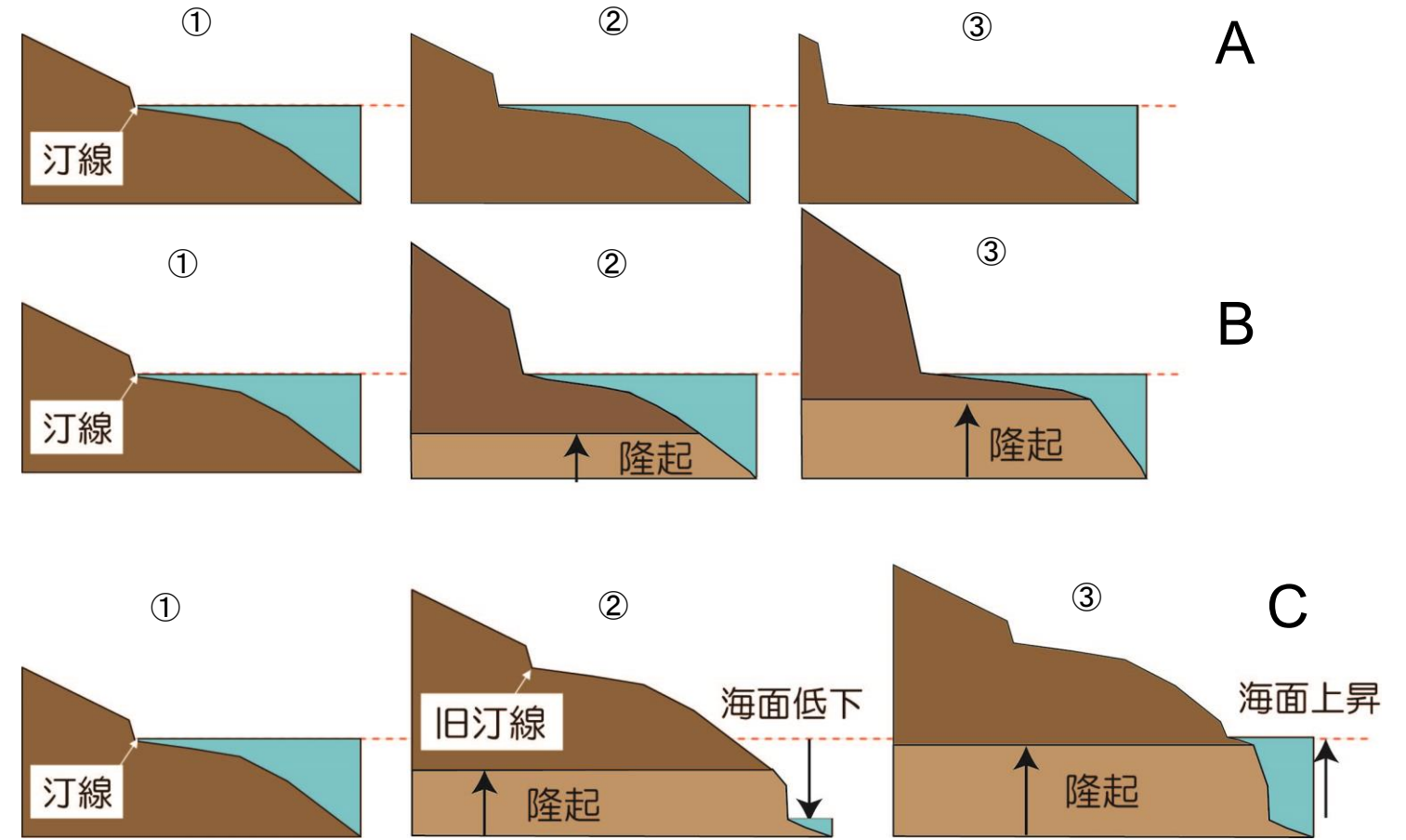


図2 海成段丘の形成過程を表す模式図

Aは、地盤の隆起も海面変化もない場合。

Bは、地盤の隆起はあるが、海面変化がない場合。

Cは、地盤の隆起も海面変化もある場合。

③図3中のCの③が現在の状態とすると、①、②は、それぞれ何年前になるかを考えて、下に記述する。